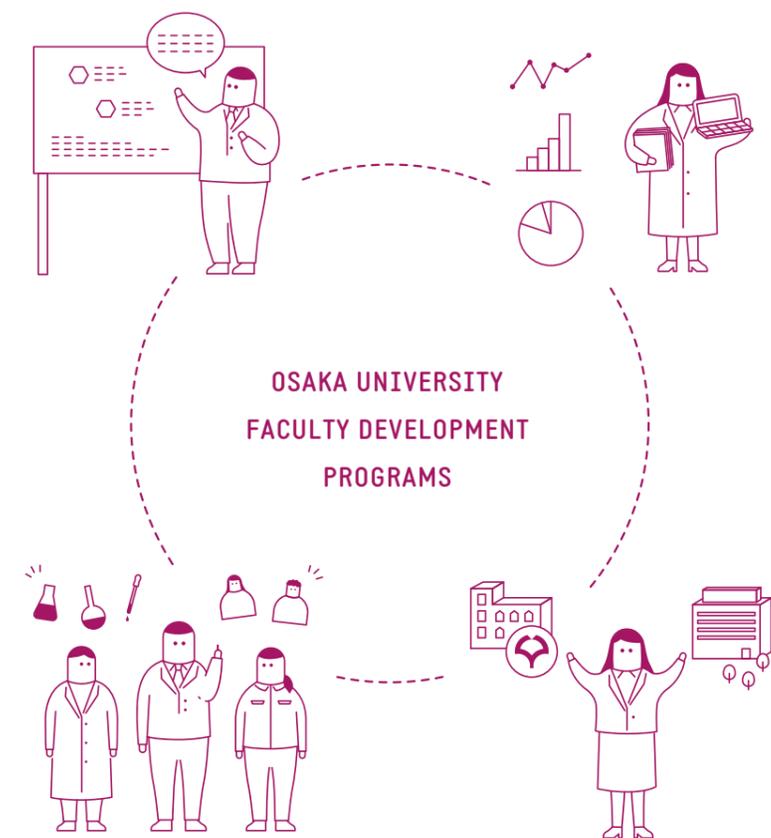


大阪大学教員のための

# ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



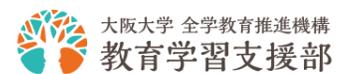
お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、  
開催部局にお問い合わせください。



発行元

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部  
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 豊中キャンパス  
全学教育総合棟Ⅱ4階417



2019 年度

4 月～9 月

## 大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要だと思えます。

本学は2017年10月以降、新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化することにしました。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすと共に、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけでなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントの全ての領域で高いパフォーマンスを実現するため、できるだけ多くの教員のみなさまにご参加いただきたいと考えています。

## 新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいますが、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営の取組をさらに向上させるため、新規採用する教員に対して本学の教員として身に付けておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供することを目的に、新任教員研修を必須化しています。具体的には、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修について、新規採用される講師・助教等を対象に、採用後3年間で30時間の研修受講を必須化することにより、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得を図るものです。

2019年度前期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)  
小林 博司

## 概要

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はこれまでFD（ファカルティ・ディベロップメント）に取り組んできました。プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

#### 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

#### 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

#### マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

#### 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。



### 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。受講者は大阪大学CLEにおいて受講時間数（FDポイント）と、受講した時間数によって色が変化するFDバッジを確認することができます。また、教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、30時間ごとに修了証明書を発行します（上限120時間）。

#### FDバッジの確認方法



1. CLEに阪大IDでログインする。
2. コミュニティから「教育学習支援共通（TLSC）FD」をクリックする。
3. 左側の「FDバッジの確認」をクリックする

#### FDバッジの種類



### 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは以下の通り各プログラムを受講してください。

- ▶ 教育能力開発プログラム ..... 10時間以上
- ▶ 研究能力開発プログラム ..... 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力開発プログラム ..... あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力開発プログラム

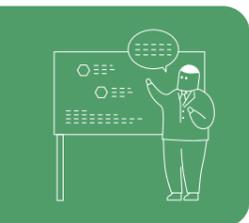
研修プログラム一覧〈平成31年度上期(2019.4～2019.9)開催分〉

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンド」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
研究	P.14	○	総合解析センター説明会(機器分析講習会)	吹田	4月3日 13:45-16:45	3	50名	日本語	産業科学研究所
教育	P.6	-	アクティブ・ラーニング	豊中	4月4日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.6	○	理学教育カリキュラム反省会	豊中	4月4日 13:30-16:00	2.5	150名	日本語	理学研究科
研究	P.14	○	不正防止について	吹田	4月12日 11:30-11:50 13:45-14:05	0.33	未設定	日本語/English	微生物病研究所 免疫学フロンティア研究センター
教育	P.6	-	キャリア教育	豊中	4月18日 16:20-17:50	1.5	30名	日本語	キャリアセンター 全学教育推進機構
教育	P.6	-	アクティブ・ラーニング	吹田	4月19日 10:00-12:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.6	-	キャリア教育	吹田	4月19日 13:00-14:30	1.5	30名	日本語	キャリアセンター 全学教育推進機構
マネジメント	P.18	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会(初任者FD)	豊中	4月～5月	3	50名	日本語	基礎工学研究科
社会学連携	P.17	-	RIMDFD seminar series: 研究成果の社会実装を考える	吹田	4月～9月の間に1回	1.5	20名	日本語/English	微生物病研究所
マネジメント	P.18	○	産研新人オリエンテーション	吹田	4月下旬	4	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.18	○	産研安全講習会 (午前:バイオセーフティー講習会、午後:安全講習会)	吹田	4月下旬 または5月上旬	4	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.18	-	新入教職員安全衛生講習会	豊中	4月頃	2.25	250名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	-	新入教職員安全衛生講習会	吹田	4月頃	2.25	250名	日本語	安全衛生管理部
5月									
教育	P.6	-	講義法	豊中	5月9日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.7	-	学習評価法	豊中	5月9日 15:15-17:15	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.7	-	双方向型授業導入のための基礎	豊中	5月9日 15:00-17:40	2.67	40名	日本語	COデザインセンター
マネジメント	P.19	○	工学研究科新任者研修	吹田	5月9日 9:30-17:15	7	約30名	日本語	工学研究科
教育	P.7	-	グループ学習	豊中	5月23日 14:40-16:40	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.7	-	学生指導法セミナー	吹田	5月23日 14:00-16:30	2.5	24名	日本語	工学研究科
教育	P.8	-	ルーブリック評価	豊中	5月28日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
研究	P.14	-	産学共創による研究成果の社会還元に向けた取組	吹田	5月上旬以降	3コマ 合計5	100名	日本語	共創機構
マネジメント	P.19	○	蛋白防災安全講習会	吹田	5月 (日程未定)	1	60名程度	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.19	-	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIII)の利用について	豊中	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	-	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIII)の利用について	吹田	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	-	実験系廃液・排水の取扱い	豊中	5月頃	0.83	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	-	実験系廃液・排水の取扱い	吹田	5月頃	0.83	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	非化学系のための化学薬品取扱講習	豊中	5月頃	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	非化学系のための化学薬品取扱講習	吹田	5月頃	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	詳解:化学物質安全取扱講習	豊中	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	詳解:化学物質安全取扱講習	吹田	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター豊中分室編)	豊中	5月頃	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター吹田分室編)	吹田	5月頃	1.5	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	-	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	豊中	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	-	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	吹田	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	-	電気コンセントと電気配線の安全講習	豊中	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	-	電気コンセントと電気配線の安全講習	吹田	5月頃	1	50名	日本語	安全衛生管理部
6月									
社会学連携	P.17	-	社会と大学をつなぐ-大阪大学の社会学共創-	豊中	6月6日 13:00-14:30	1.5	30名	日本語	共創機構
マネジメント	P.21	○	不登校学生の理解と対応	豊中	6月6日 17:00-18:00	1	約50名	日本語	基礎工学研究科
教育	P.8	-	学生の心理	吹田	6月10日 13:00-14:30	1.5	50名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
マネジメント	P.21	○	平成31年度大阪大学新任教員(研究員)研修	吹田	6月12日 9:15-12:00	2.75	未設定	日本語	総務部人事課
教育	P.8	-	ハラスメント防止セミナー	吹田	6月12日 14:00-16:30	2.5	30名	日本語	工学研究科
教育	P.7	-	グループ学習	吹田	6月13日 14:40-16:40	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.8	-	オンライン学習教材作成法	豊中	6月13日 14:40-16:40	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.9	-	講義収録システム活用法	豊中	6月13日 17:00-18:30	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.8	-	オンライン学習教材作成法	吹田	6月17日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.9	-	講義収録システム活用法	吹田	6月17日 15:20-16:50	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
6月									
教育	P.8	-	ルーブリック評価	吹田	6月21日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.6	-	講義法	吹田	6月27日 13:00-15:00	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.9	-	学生の不適応	豊中	6月27日 13:30-15:00	1.5	50名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
教育	P.7	-	学習評価法	吹田	6月27日 15:15-17:15	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.9	-	大学におけるカルト問題	豊中	6月27日 15:15-16:45	1.5	50名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
研究	P.14	-	STEMコンピューティング・プラットフォームMaple講習会	豊中	6月頃	3	各回 30名程度	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P.22	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	豊中	6月下旬～ 7月上旬頃	1	未設定	日本語	理学研究科
7月									
教育	P.9	○	理工系若手教員対象のワークライフバランス設計	吹田	7月8日 12:30-14:30	2	4～15名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.9	○	理工系若手教員対象のワークライフバランス設計	豊中	7月9日 12:30-14:30	2	4～15名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.10	-	障がい学生支援	吹田	7月9日 13:30-15:30	2	50名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
教育	P.10	-	自死防止セミナー	吹田	7月10日 14:00-16:00	2	30名	日本語	工学研究科
教育	P.10	-	シラバス作成法	吹田	7月19日 14:40-16:40	2	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.10	-	シラバス作成法	豊中	7月25日 14:40-16:40	2	30名	日本語	全学教育推進機構
マネジメント	P.22	-	ハラスメント防止等に関する研修会	吹田	7月(予定)	2	100名	日本語	人権問題委員会
8月									
教育	P.11	-	英語版授業づくりワークショップ(教育の国際化のためのFDワークショップ-学習者中心のアプローチを学ぶ-)	吹田	8月、9月中の 4日間(予定)	18	20名	English	全学教育推進機構
9月									
教育	P.11	-	授業づくりワークショップ	豊中	9月28～29日 10:00-18:00	20	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.11	-	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	豊中	9月 13:00-17:00	3.5	各 300名	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
教育	P.11	-	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	吹田	9月 13:00-17:00	3.5	各 300名	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
教育	P.12	-	情報教育システム教員向け説明会	豊中	9月頃	1.5	各回 30名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	-	情報教育システム教員向け説明会	吹田	9月頃	1.5	各回 30名程度	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P.22	○	2019年度公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス説明会(仮)	豊中	9月頃(日時未定)	0.75	各回 80名	日本語	文学研究科
マネジメント	P.22	○	コンプライアンス教育	豊中	9月上旬 ～10月下旬	1	未設定	日本語	理学研究科
定期・不定期・複数月開催									
教育	P.12	-	iPad Café	豊中	毎月第2木曜 (16:30-18:00)	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構
教育	P.12	-	コンサルティングサービス	豊中	随時受付	1	未設定	日本語	全学教育推進機構
教育	P.12	○	FD研修会	吹田	5月、7月 (日程未定)	各回 1時間 程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.15	○	アドバンストセミナー	吹田	毎月1回 16:00-17:00頃	各回 1時間	未設定	日本語/English	微生物病研究所 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	RIMDFD seminar series: Academic English for RIMDFD Researchers	吹田	4月～9月 の間に4回	15時間 ×4回	20名	English	微生物病研究所
研究	P.15	○	微研集談会	吹田	8月と12月を除く 毎月第4火曜日 16:00-17:00	各回 1時間	未設定	日本語/English	微生物病研究所 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	蛋白研コロキウム	吹田	4月、6月、9月 (日程未定)	各回 0.5時間 程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
未定									
教育	P.13	○	医学教育分野別認証制度について	吹田	未定	1.5	100名	日本語	医学系研究科
教育	P.13	-	エコー アクティブラーニング プラットフォーム (EchoALP)を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	豊中	未定	1.5	各回 30名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	エコー アクティブラーニング プラットフォーム (EchoALP)を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	吹田	未定	1.5	各回 30名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	授業支援システム(CLE)入門講座	豊中	未定	1.5	各回 20名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	授業支援システム(CLE)入門講座	吹田	未定	1.5	各回 20名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	授業支援システム(CLE)応用講座	豊中	未定	1.5	各回 20名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	-	授業支援システム(CLE)応用講座	吹田	未定	1.5	各回 20名程度	日本語	サイバーメディアセンター
研究	P.16	-	研究・教育の推進に資する図書館の利活用	吹田	未定	1.5	50名	日本語	附属図書館
研究	P.16	○	研究科主催セミナー	吹田	未定	1.5	200名	日本語	医学系研究科
マネジメント	P.23	○	公的研究費の不正使用防止に係る説明会	吹田	未定	1	200名	日本語	医学系研究科
マネジメント	P.23	○	コンプライアンス講習会	吹田	未定	1	100名	日本語	工学研究科



## アクティブ・ラーニング

講師：山口和也 (全学教育推進機構 教授)  
西森年寿 (人間科学研究科 教授)  
家島明彦 (全学教育推進機構 講師)



30名 2時間 日本語 対面

豊中 4月4日 13:00-15:00  
吹田 4月19日 10:00-12:00

〈キーワード〉 アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉

アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

限定 理学研究科構成員のみ対象

## 理学教育カリキュラム反省会

講師：佐藤尚弘 (理学研究科 教授)  
中澤康浩 (理学研究科 教授)  
柿本辰男 (理学研究科 教授)

150名 2.5時間 日本語 対面

豊中 4月4日 13:30-16:00

〈キーワード〉 コア科目、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉

コア科目及びプロジェクト教育に関する報告・議論  
大阪大学における教育改革等について議論

《問合せ先：理学研究科学務係》 [ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp)》

## キャリア教育

講師：家島明彦 (全学教育推進機構 講師)



30名 1.5時間 日本語 対面

豊中 4月18日 16:20-17:50  
吹田 4月19日 13:00-14:30

〈キーワード〉 キャリア教育、就職支援

〈概要〉

大学設置基準の改正（42条の2新設）に伴い「キャリア教育の義務化」ということが言われてきましたが、そもそも「キャリア教育とは何か？なぜ大学で必要なのか？」を学ぶ機会は少なかったのではないのでしょうか？本セミナーでは、キャリア教育の定義や導入背景、大学の授業における具体的な実践方法（授業をキャリア教育化する方法）などについて学びます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

## 講義法

講師：佐藤浩章 (全学教育推進機構 准教授)



30名 2時間 日本語 対面

豊中 5月9日 13:00-15:00  
吹田 6月27日 13:00-15:00

〈キーワード〉 講義法、情報伝達、理解、記憶

〈概要〉

アクティブラーニングの必要性が叫ばれる時代ですが、中世ヨーロッパに大学が誕生して以来、講義法はなくなっていませんし、これからもなくなることはないでしょう。知識伝達を行う技法である講義法で大切なことは、学生が知識を理解し記憶するメカニズムを理解したうえで教えることです。本プログラムではその理解をもとに、効果的な技法を習得することを目指します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

## 双方向型授業導入のための基礎

講師：平田オリザ (CO デザインセンター 特任教授(常勤))



40名 2.67時間 日本語 対面

豊中 5月9日 15:00-17:40

〈キーワード〉 演劇、ワークショップ、アクティブラーニング、コミュニケーション、大学入試改革

〈概要〉

簡単なコミュニケーションゲームの実践と解説、およびその意味づけの講義

《問合せ先：全学教育推進機構等事務部 (CO デザインセンター総務担当)》  
<http://cscd.osaka-u.ac.jp/> [yamada-t@office.osaka-u.ac.jp](mailto:yamada-t@office.osaka-u.ac.jp)》

## 学習評価法

講師：佐藤浩章 (全学教育推進機構 准教授)



30名 2時間 日本語 対面

豊中 5月9日 15:15-17:15  
吹田 6月27日 15:15-17:15

〈キーワード〉 評価、成績づけ、形成的評価、総合的評価

〈概要〉

学生の能力をいったいどのように評価したら良いのでしょうか。本セミナーでは、何を、いつ、どのように評価したら良いのかについて学びます。そして、伝統的なテストやレポートに加えて、ルーブリック評価、ポートフォリオ評価、コンセプトマップ、リフレクションシートといった新しいツールを使った評価法、また教員評価以外にも、自己評価・ピア評価など、学習成果を可視化する新しい評価方法について学びます。さらに剽窃等の学問的不誠実行為の防止法についても学びます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

## 学生指導法セミナー

講師：根岸和政 (工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師)

24名 2.5時間 日本語 対面

吹田 5月23日 14:00-16:30

〈キーワード〉 学生の自己肯定感、レジリエンス、主体性

〈概要〉

学生のグリット（やり抜く力）を引き出す方法・学生の主体性を伸ばす教育指導法・人間の行動原理に即した教育指導法について、解説および演習を行います。

《問合せ先：大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター》  
[honna@ceids.osaka-u.ac.jp](mailto:honna@ceids.osaka-u.ac.jp) (本間) [negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp) (根岸)》

## グループ学習

講師：西森年寿 (人間科学研究科 教授)  
山口和也 (全学教育推進機構 教授)  
大山牧子 (全学教育推進機構 助教)



30名 2時間 日本語 対面

豊中 5月23日 14:40-16:40  
吹田 6月13日 14:40-16:40

〈キーワード〉 グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉

アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとり入れて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施される様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### ルーブリック評価

講師：浦田悠 (全学教育推進機構 特任講師)  
佐藤浩章 (全学教育推進機構 准教授)

**豊中** 5月28日 13:00-15:00  
**吹田** 6月21日 13:00-15:00

〈キーワード〉ルーブリック、パフォーマンス評価

〈概要〉

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。\*参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参ください。持参できない場合はパソコンを使わずに紙で作業もできます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> / ✉ [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### 学生の心理

講師：石金直美 (キャンパスライフ健康支援センター 准教授)

**吹田** 6月10日 13:00-14:30

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉

まず上記のテーマについて講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》 ✉ [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



### ハラスメント防止セミナー

講師：根岸和政 (工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師)

**吹田** 6月12日 14:00-16:30

〈キーワード〉他者視点、感情のコントロール、ストレス、ハラスメント防止、ハラスメント対処法

〈概要〉

相手に対する言動がどのような影響を与えているのか、他者視点に立つことの重要性 ハラスメントの可能性を軽減するための感情のコントロール法 ハラスメントの被害に遭うことを回避する方法 ハラスメントの被害を受けた時の対処法について、解説・演習を行います。

《問合せ先：大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター》  
☎ [honma@ceids.osaka-u.ac.jp](mailto:honma@ceids.osaka-u.ac.jp) (本間) / ✉ [negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp) (根岸)》



### オンライン学習教材作成法

講師：権藤千恵 (全学教育推進機構 特任研究員)

**豊中** 6月13日 14:40-16:40  
**吹田** 6月17日 13:00-15:00

〈キーワード〉オンライン学習、e-ラーニング、ICT活用、アクティブラーニング

〈概要〉

オンライン学習教材を活用して対面授業と組み合わせた反転学習やブレンド型学習を導入する大学が増えています。本セミナーでは、効果的にオンライン学習教材を作成するために基本的な知識、効果的な活用事例、オンライン学習教材の作成方法を紹介します。\*当日はノートパソコン (Windows もしくは Mac) をご持参下さい。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> / ✉ [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### 講義収録システム活用法

講師：浦西友樹 (サイバーメディアセンター 准教授)  
浦田悠 (全学教育推進機構 特任講師)

**豊中** 6月13日 17:00-18:30  
**吹田** 6月17日 15:20-16:50

〈キーワード〉ICT活用、アクティブラーニング

〈概要〉

echo360社のアクティブラーニングプラットフォーム(ALP)を用いれば、お手持ちのパソコンで手軽にビデオ教材を作成・配信することができ、予習や復習、補講のみならず、部局や研究室でのオンライン講習等にもご利用いただけます。また、ウェブカメラを使えば、パソコン画面と教員の顔や教室の映像の2画面を同時に収録することも可能です。本セミナーでは、ご自身のノートパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただけます。

\*当日はノートパソコン (Windows もしくは Mac) をお持ち下さい。USBカメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。

\*授業での公開をご希望の方は、参加申込みフォームの備考欄に「授業名」をお書きください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> / ✉ [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### 学生の不適応

講師：水田一郎 (キャンパスライフ健康支援センター 教授)

**豊中** 6月27日 13:30-15:00

〈キーワード〉心理的問題、環境ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉

まず、上記テーマ (学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応) について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》 ✉ [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



### 大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之 (キャンパスライフ健康支援センター 教授)

**豊中** 6月27日 15:15-16:45

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉

上記のテーマについて講義形式で学びます。後半においては、他大学の事例も紹介しながら、担当講師との対話形式で意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》 ✉ [campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



**限定** 理工系新任教員(2年以内)のみ対象

### 理工系若手教員対象のワークライフバランス設計

講師：山口和也 (全学教育推進機構 教授)

**豊中** 7月9日 12:30-14:30  
**吹田** 7月8日 12:30-14:30

〈キーワード〉ワークライフバランス

〈概要〉

講義科目を担当する機会がまだ少ない理工系若手教員にとって、教育とは何を意味するのでしょうか？また、大学教員としての責務は学生・ポストドク時代とはどのように異なるのでしょうか？大学教員であること様々なトラブル・リスク防止と教育者・研究者としての可能性を考え、大学教員としての生き方を将来を見据えて計画することが重要になります。本研修では、現在および将来の大学を巡る情勢について学ぶとともに、大学教員のワークライフバランスの観点から、大学教員としてのライフプランのワークを行います。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> / ✉ [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》





## 教育能力 開発プログラム

### 障がい学生支援

講師：望月直人（キャンパスライフ健康支援センター 准教授）  
中野聡子（キャンパスライフ健康支援センター 講師）  
諏訪絵里子（キャンパスライフ健康支援センター 特任講師）  
樋口隆太郎（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）  
楠敬太（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）  
その他

**吹田** 7月9日 13:30-15:30

〈キーワード〉 心理的問題、精神疾患、発達障がい、身体障がい、合理的配慮

〈概要〉

まず、上記テーマ（学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応）について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》 [✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



### 自死防止セミナー

講師：根岸和政（工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師）

**吹田** 7月10日 14:00-16:00

〈キーワード〉 学生の自死の主な原因、自死に至る特徴、自死を防止するためにできること

〈概要〉

学生の自死の原因・特徴を整理し、その対応策の具体的な方法を解説します。

《問合先：大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター》  
[✉ honma@ceids.osaka-u.ac.jp](mailto:honma@ceids.osaka-u.ac.jp)（本間） [✉ negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@coire.eng.osaka-u.ac.jp)（根岸）》



### シラバス作成法

講師：大山牧子（全学教育推進機構 助教）

**豊中** 7月25日 14:40-16:40

**吹田** 7月19日 14:40-16:40

〈キーワード〉 シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉

シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。\* 参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。（ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください）

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### 英語版授業づくりワークショップ （教育の国際化のためのFDワークショップ －学習者中心のアプローチを学ぶ－）

講師：外部講師を招へい予定

**吹田** 8月、9月中の4日間（予定）

〈キーワード〉 Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉

I: Course Design Workshop (Morning of each day, 10:00-13:00)

Day1: Course Content / Day2: Learning Outcomes / Day3: Assessment / Day4: Instructional Strategies

II: Microteaching (Divided into groups A and B, schedule for each)

Group A: Day1 and 3 (14:00-17:00) / Group B: Day2 and 4 (14:00-17:00) (For example, if you are in group A, you are required to attend both the morning session and the afternoon session on day 1 & 3, and only the morning session on day 2 & 4.)

〈研修時間外に求められる課題〉

Please bring the following with you to the workshop.

\*5-minute-long content in English from your course. Any part is fine, but the overview might be easy for audience to understand.

\*If necessary, you can use Power Point data, handouts, circulated materials in English, etc. and other English materials used in your course.

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### 授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 准教授）  
増澤利光（全学教育推進機構 教授）  
浦田悠（全学教育推進機構 特任講師）  
根岸千悠（全学教育推進機構 特任助教）



**豊中** 9月28～29日 10:00-18:00

〈キーワード〉 コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉

コースデザインとは、教員がコース（授業科目）を何らかの目的・目標に基づいて具体的に設計することです。ワークショップでは、2日間で学生中心の授業のデザイン方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。また同じ悩みを抱えた他の教員とアイデアを共有することで、今後の授業の質の向上を目指します。\* パソコン及び改善したいシラバスをご持参ください。\* 全課程修了後に修了証が授与されます。\* 通し研修となりますので、途中からの参加・退出はできません。

〈研修時間外に求められる課題〉

シラバスに関する動画の視聴等

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

### 大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム

講師：未定

**豊中** 9月 13:00-17:00

**吹田** 9月 13:00-17:00

〈キーワード〉 教育改革、アクティブ・ラーニング、英語による授業、携帯端末等の授業への活用、カルト問題、障がい学生支援等

〈概要〉

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として、最新の教育改革のトレンド等について情報提供を行う。
2. 研修：班別のグループ討議及びワークショップ。（主な研修テーマ：アクティブ・ラーニング、英語による授業、携帯端末等の授業への活用、カルト問題、障がい学生支援など）

《問合先：教育・学生支援部教育企画課総務係》 [✉ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》





## 教育能力 開発プログラム

### 情報教育システム教員向け説明会

講師：白井 詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)

豊中 9月頃  
吹田 9月頃

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉

情報教育システムの、CLE、OUMail 等の説明と利用。教員卓の AV パネル等の利用方法の説明。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》



### iPad Café

講師：岩居弘樹(サイバーメディアセンター 教授)

豊中 毎月第2木曜 (16:30-18:00)

〈キーワード〉 mobile apps and devices, interactive classroom, collaborative learning

〈概要〉

携帯端末・タブレット端末を活用して、学生同士・学生と教員のインタラクティブな授業を実現してみませんか。iPad Cafe は、iPad の活用方法、HALC (Handai Active learning Classroom : iPad 教室) の使い方、アプリ紹介やトラブル対応の方法など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。HALC 以外の教室でも iPad を使ってみたい、学生のモバイル端末を活用したいという方も歓迎です。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



### コンサルティングサービス

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

豊中 随時受付

〈キーワード〉 授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉

授業デザインやシラバス、教授法、評価などに関する様々なご相談を承っております。お気軽にご連絡ください。

【ご相談例】

- ・授業中に質問しても学生の反応がない→ご要望に応じて、教室を訪問させていただき、学生から授業に対するコメントを聞き取ります。授業終了後に、コメントをもとに改善策を練るご支援をいたします。
- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい→ICT 機器 (タブレット端末、携帯端末等) の操作や設置の方法、授業での活用の仕方などのご提案をいたします。
- ・英語での講義を担当することになったが、不安である→英語で教えるための方法やテクニック等についての情報提供やお手伝いを行います。
- ・研究室をうまくマネジメントできない→研究室でのルールづくり、一年間の行事の設定など、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れた研究室運営に関する情報提供や研究室教育に関するご支援をいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

### F D 研修会

講師：各回によって異なる

吹田 5月、7月 (日程未定)

〈キーワード〉 教育、研究、蛋白質

〈概要〉

学内外から様々な分野の研究者や F D 担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館 1 階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 医学系研究科構成員のみ対象

### 医学教育分野別認証制度について

講師：未定

吹田 未定

〈キーワード〉 医学教育分野別認証制度、国際基準、医学教育の質保証

〈概要〉

医学教育分野別認証制度の情報提供により医学教育の理解を深めます。

《問合せ先：医学系研究科総務課庶務係》 [✉ i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



### エコー アクティブラーニング プラットフォーム(Echo ALP)を用いた 講義映像・講義資料配信とその応用

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授) 他

豊中 未定

吹田 未定

〈キーワード〉 授業支援システム、講義映像収録配信、アクティブラーニング

〈概要〉

Echo ALP を実際に操作しながら講義映像配信、講義資料の配信、およびアクティブラーニング機能の利用方法について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》



### 授業支援システム(CLE)入門講座

講師：竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)

豊中 未定

吹田 未定

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉

授業支援システム CLE を実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》



### 授業支援システム(CLE)応用講座

講師：竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)

豊中 未定

吹田 未定

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉

授業支援システム CLE を実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》



※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

限定 産業科学研究所構成員のみ対象

## 総合解析センター説明会(機器分析講習会)

講師：鈴木健之(産業科学研究所 准教授) 他9名

吹田 4月3日 13:45-16:45

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉

まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター [✉ cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp)》

50名 3時間 日本語 対面

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター構成員のみ対象

## 不正防止について

講師：松浦善治(微生物病研究所 所長)

吹田 4月12日 11:30-11:50 13:45-14:05

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉

本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関するオリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるレクチャーが行われる。また、当日欠席者には、後日録画したDVDあるいはWEBシステムを視聴を義務づける。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

未設定 0.33時間 日本語/English 対面/オンライン

## 産学共創による研究成果の 社会還元に向けた取組

講師：正城敏博(共創機構 教授)  
北岡康夫(共創機構 教授)  
加藤浩介(共創機構 講師)

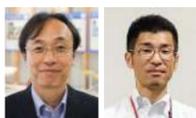
吹田 5月上旬以降

〈キーワード〉共同研究講座・協働研究所、知的財産、ライセンス、共同研究、大学発ベンチャー

〈概要〉

大阪大学における産学共創に向けた取組の現状について学びます。その後、共同研究講座・協働研究所等の大阪大学における産学共創を進めるためのスキーム、及び研究で得られた知的財産の活用手法、技術シーズを育成した大学発ベンチャーの立ち上げ、共同研究契約書における企業の動きについて学びます。

《問合せ先：共創推進部 産学共創課 産学企画係 [✉ kyousou-sangaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-sangaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》



100名 3コマ 合計5時間 日本語 対面

## STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

講師：未定

豊中 6月頃

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉

Mapleの基本構成と原理、Mapleの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換  
数学計算(1)(代数方程式、微分方程式の解法)  
数学計算(2)(線形代数の計算)  
その他の機能(GUIアプリケーションの開発等)

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

各回 30名程度 3時間 日本語 対面

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、及び医学系研究科構成員のみ対象

## アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 毎月1回 16:00-17:00頃

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉

学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

未設定 各回 1時間 日本語/English 対面

限定 微生物病研究所構成員のみ対象

## RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Dr. Neville Greening

吹田 4月～9月の間に4回

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉

学会発表を模した模擬プレゼンテーションを行い、英語のネイティブスピーカーにチェックをうける。また、プレゼンテーションだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶ。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp)》

20名 1.5時間×4回 English 対面

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、及び医学系研究科構成員のみ対象

## 微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 8月と12月を除く毎月第4火曜日 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉

微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

未設定 各回 1時間 日本語/English 対面

限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

## 蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 4月、6月、9月(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学

〈概要〉

主に所内教員による専門分野に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

60名程度 各回 0.5時間程度 日本語 対面

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 研究能力 開発プログラム

### 研究・教育の推進に資する図書館の利活用

講師：図書館職員

**吹田** 未定

〈キーワード〉 図書館の利用、電子リソース、図書の購入・寄贈、雑誌の購読、機関リポジトリとオープンアクセス、教育・学習支援

〈概要〉

附属図書館が提供する情報サービス、図書館施設の利用方法等について、研究推進の観点、教育実施の観点から具体的事例を基に学びます。

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 [✉ kikaku@library.osaka-u.ac.jp](mailto:kikaku@library.osaka-u.ac.jp)



**限定** 医学系研究科構成員のみ対象

### 研究科主催セミナー

講師：未定

**吹田** 未定

〈キーワード〉 最新の医学情報と応用への展開

〈概要〉

最新の国内外の医学情報の提供による医学研究者としてのスキルアップを図ります。

《問合せ先：医学系研究科総務課庶務係》 [✉ i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp)



### RIMD FD seminar series: 研究成果の社会実装を考える

講師：各回により異なる

**吹田** 4月～9月の間に1回

〈キーワード〉 研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉

微生物病研究発ベンチャー企業関係者（技術顧問、CEO など）によるレクチャーおよび企業業務のブース展示を開催する。基本的に年2回、場所は微生物病研究所融合型生命科学総合研究棟で行う。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp)



### 社会と大学をつなぐ - 大阪大学の社会学共創 -

講師：佐伯康考 (共創機構 特任助教)

**豊中** 6月6日 13:00-14:30

〈キーワード〉 社会学共創、アウトリーチ、産官地学連携

〈概要〉

「日経グローバル」が発表した「大学の地域貢献度ランキング 2017」で大阪大学は全国1位に輝くなど、大阪大学の社会学共創は全国の国立大学で先進的なモデルとして考えられています。今回の研修では前半で大阪大学が取り組んできた社会学共創事業の内容や活動拠点（豊中、吹田、箕面、中之島、EXPOCITY）について学び、後半では自身の研究活動に即したアウトリーチ活動の計画を立案し、講師や参加者との意見交換を行います。

《問合せ先：共創機構 社会学共創本部》 [✉ info-ucc@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:info-ucc@ml.office.osaka-u.ac.jp)



## 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハantai」(FD関係)にてご確認ください。





## マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

## 新入教職員安全衛生講習会

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 准教授）他

**豊中** 4月頃  
**吹田** 4月頃

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉

新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てます。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

**限定** 基礎工学研究科構成員のみ対象

## 基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会（初任者FD）

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長  
教育企画推進室学部教務委員長  
学生委員会委員長  
ハラスメント防止委員会委員長  
研究企画推進室長  
事務部

**豊中** 4月～5月

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉

「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。

《問合せ先：基礎工学研究科 人事係 ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

**限定** 産業科学研究所構成員のみ対象

## 産研新人オリエンテーション

講師：大岩顕（産業科学研究所 教授）  
その他産業科学研究所教員

**吹田** 4月下旬

〈キーワード〉新人、オリエンテーション

〈概要〉

産業科学研究所の歴史および現在の研究・組織について、各担当教職員等が紹介する。

《問合せ先：産業科学研究所 企画室 isir-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp》

**限定** 産業科学研究所構成員のみ対象

## 産研安全講習会 （午前：バイオセーフティー講習会、午後：安全講習会）

講師：バイオセーフティー担当教員と技術職員

**吹田** 4月下旬または5月上旬

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉

前半は産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。後半は産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に安全衛生講習を行います。

《問合せ先：産業科学研究所 技術室》

250名  
 2.25時間  
 日本語  
 対面

50名  
 3時間  
 日本語  
 対面

50名  
 4時間  
 日本語  
 対面

50名  
 4時間  
 日本語  
 対面

**限定** 工学研究科構成員のみ対象

## 工学研究科新任者研修

講師：田中敏宏（工学研究科長 教授）

青木伸一（工学研究科 コンプライアンス推進室長 教授）

尾崎雅則（工学研究科 財務室長 教授）

原圭史郎（工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 准教授）

根岸和政（工学研究科 附属オープンイノベーション教育研究センター 講師）

**吹田** 5月9日 9:30-17:15

〈キーワード〉工学研究科、研究倫理、研究不正防止、財務基本知識、ハラスメント防止、教員 事務系職員のチームビルディング

〈概要〉

工学研究科を取り巻く状況（約50分）、工学研究科におけるコンプライアンスの取り組み（約30分）、工学研究科の財務基本知識（約50分）、フューチャー・デザイン（約90分）、ハラスメント防止（約45分）、交流研修（約100分）を含み全体で約7時間（予定）で、工学研究科の新任教職員を対象とします。

《問合せ先：工学研究科附属 オープンイノベーション教育研究センター（担当：本間） honma@ceids.osaka-u.ac.jp》

約30名  
 7時間  
 日本語  
 対面

**限定** 蛋白質研究所構成員のみ対象

## 蛋白研防災安全講習会

講師：未定

**吹田** 5月（日程未定）

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉

学生・教職員を対象に防災などに関連する安全な取扱いに関する知識に基づく適切な管理方法を習得できる講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

60名程度  
 1時間  
 日本語  
 対面

## 大阪大学薬品管理支援システム (OCCS III) の 利用について

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

**豊中** 5月頃  
**吹田** 5月頃

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCS III)

〈概要〉

OCCS と関連する法令による規制についての理解を深める。また実験系廃液と排水についての管理や処理方法について研修します。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

50名  
 1時間  
 日本語  
 対面

## 実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

**豊中** 5月頃  
**吹田** 5月頃

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉

実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

50名  
 0.83時間  
 日本語  
 対面

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

### 非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 5月頃  
吹田 5月頃

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉

非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1.5時間 日本語 対面

### 详解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 5月頃  
吹田 5月頃

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉

化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1時間 日本語 対面

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （低温センター豊中分室編）

講師：竹内徹也（低温センター 助教）

豊中 5月頃

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1.5時間 日本語 対面

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （低温センター吹田分室編）

講師：中本将嗣（低温センター 助教）

吹田 5月頃

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1.5時間 日本語 対面

### 大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習

講師：中本将嗣（低温センター 助教）

豊中 5月頃  
吹田 5月頃

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム (OGCS)

〈概要〉

高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得します。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1時間 日本語 対面

### 電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 准教授）

豊中 5月頃  
吹田 5月頃

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉

実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得します。

《問合せ先：安全衛生管理部推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

50名 1時間 日本語 対面

限定 基礎工学研究科構成員のみ対象

### 不登校学生の理解と対応

講師：水田一郎（キャンパスライフ健康支援センター 教授）

豊中 6月6日 17:00-18:00

〈キーワード〉大学生の不登校、不登校の背景要因、不登校学生の支援

〈概要〉

まず、上記テーマ（大学生の不登校、不登校の背景要因、不登校学生の支援等）について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合せ先：基礎工学研究科 教務係》[✉ ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)》

約50名 1時間 日本語 対面

限定 ①平成30年7月1日以降に新たに採用された教員等  
②平成30年度当該研修の受講対象者のうち、当該研修を受講していない教員等のみ対象

### 平成31年度大阪大学新任教員(研究員)研修

講師：三成賢次(大阪大学 理事)  
小林傳司(大阪大学 理事)  
八木康史(大阪大学 理事)  
小川哲生(大阪大学 理事)  
河原源太(大阪大学 理事)  
工藤真由美(大阪大学 理事)  
ハラスメント相談室長

吹田 6月12日 9:15-12:00

〈キーワード〉

ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学共創、情報セキュリティ、産学共創、男女協働推進、研究推進、ハラスメント防止

〈概要〉

新任教員等に対して、役員等による講義を行います。

《問合せ先：総務部 人事課 職員係》[✉ soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 2.75時間 日本語 対面



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月19日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

限定 理学研究科構成員のみ対象

### 理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

豊中 6月下旬～7月上旬頃

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉

理学研究科及び理学部教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行う

《問合せ先：理学研究科 人事係 [✉ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》



未設定 1時間 日本語 対面

### ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

吹田 7月（予定）

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉

ハラスメント問題（テーマは未定）

《問合せ先：総務部総務課業務運営係 [✉ soumu-soumu-jimukaikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-jimukaikaku@office.osaka-u.ac.jp)》



100名 2時間 日本語 対面

限定 文学研究科構成員のみ対象

### 2019年度公的研究費の不正使用防止に係る コンプライアンス説明会(仮)

講師：会計係

豊中 9月頃（日時未定）2回実施（同内容）

〈キーワード〉公的研究費、不正使用、コンプライアンス、物品調達システム、旅費申請システム、教員発注制度

〈概要〉

不正使用防止計画推進室から提供された部局等コンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一環として、説明会を開催するものです。

《問合せ先：文学研究科 会計係 [✉ bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp)》



各回  
80名 0.75時間  
(予定) 日本語 対面

限定 理学研究科構成員のみ対象

### コンプライアンス教育

講師：専攻長  
附属施設長

豊中 9月上旬～10月下旬

〈キーワード〉研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉

1. 公的研究費の不正使用防止について
2. 教員発注制度：発注を行う教職員の方へ～権限とその責任について～

《問合せ先：各専攻担当者》



未設定 1時間 日本語 対面

限定 医学系研究科構成員のみ対象

### 公的研究費の不正使用防止に係る説明会

講師：未定

吹田 未定

〈キーワード〉コンプライアンス

〈概要〉

平成30年度の監査結果等に基づき、公的研究費の管理、運営上の留意点等をテーマとしてその対応等について知識を深めます。

《問合せ先：医学系研究科 経理課 [✉ imanishi-i@office.osaka-u.ac.jp](mailto:imanishi-i@office.osaka-u.ac.jp)》



200名 1時間 日本語 対面

限定 工学研究科構成員のみ対象

### コンプライアンス講習会

講師：青木伸一（工学研究科 コンプライアンス推進室長 教授）

吹田 未定

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉

工学研究科対象教職員および新任教員に対して 50 分程度の講義ののち、質問を受け付けます。

《問合せ先：大学院工学研究科総務課 コンプライアンス推進室 [✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》



100名 1時間 日本語 対面

